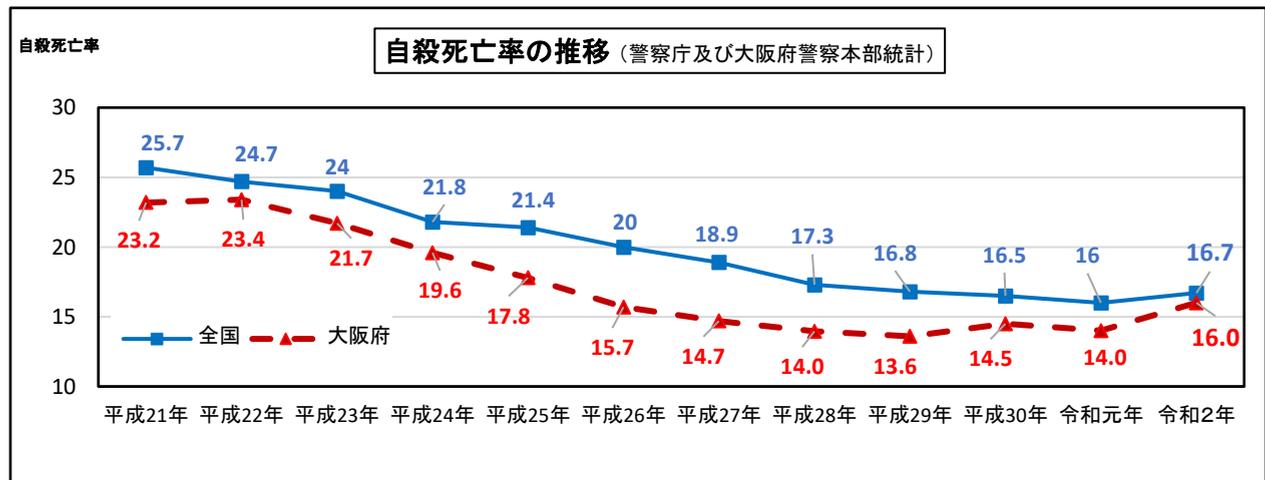
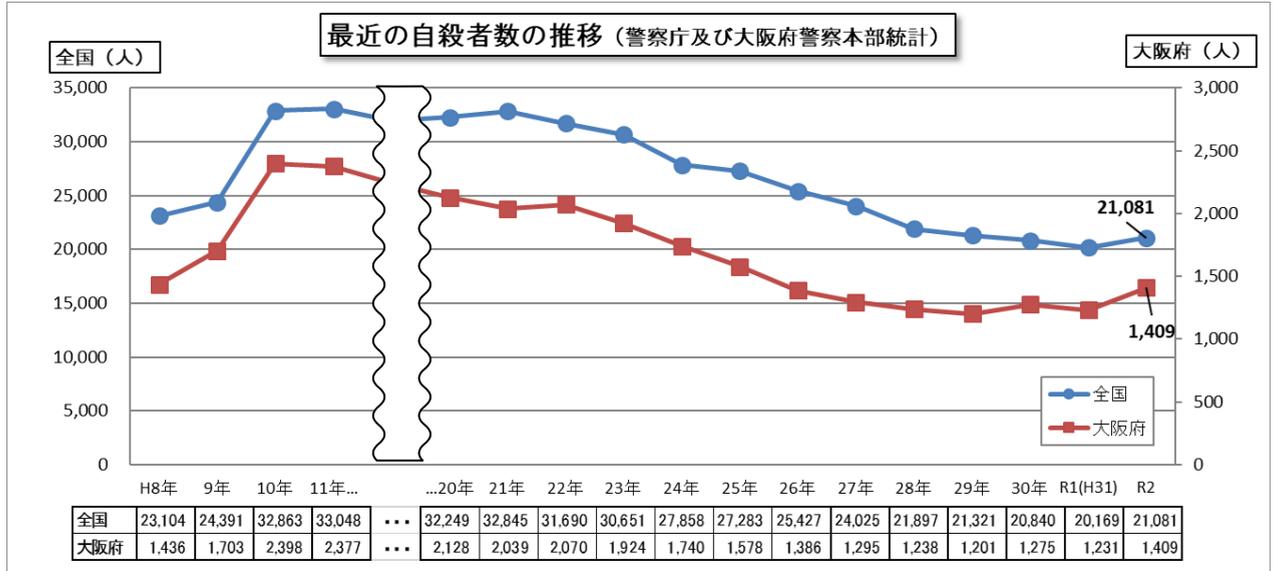


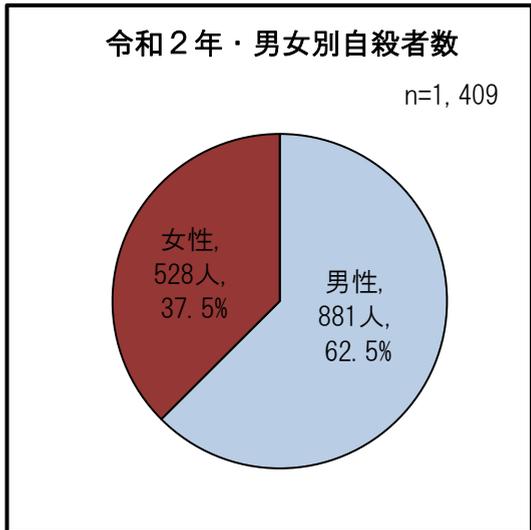
# 大阪府の自殺の概要<令和2年>

※警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）

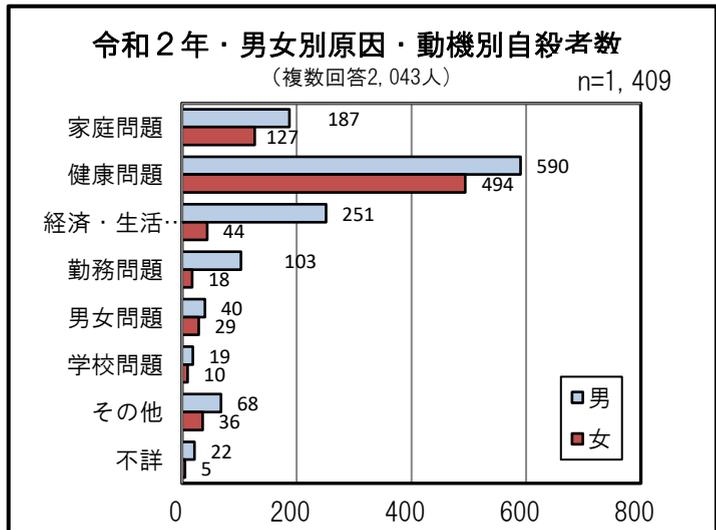


全国の自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超えて高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、平成24年から継続して3万人を下回っています。

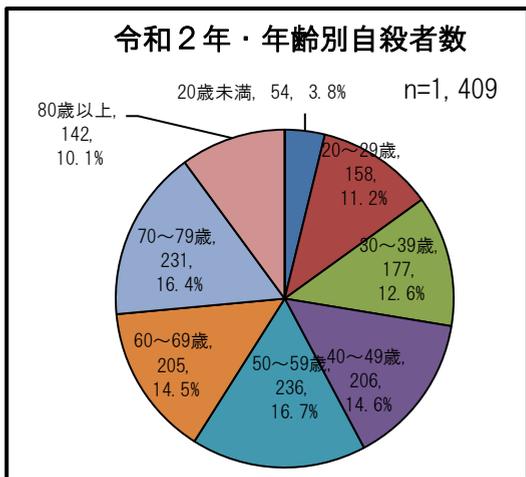
大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の増加後、若干の変動はあるものの横ばい状態で推移していましたが、平成23年より減少傾向となり、2千人を下回りました。令和2年は前年より178人増の1,409人となり、依然として1日に3人以上の方が亡くなられています。自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は16.0となっています。



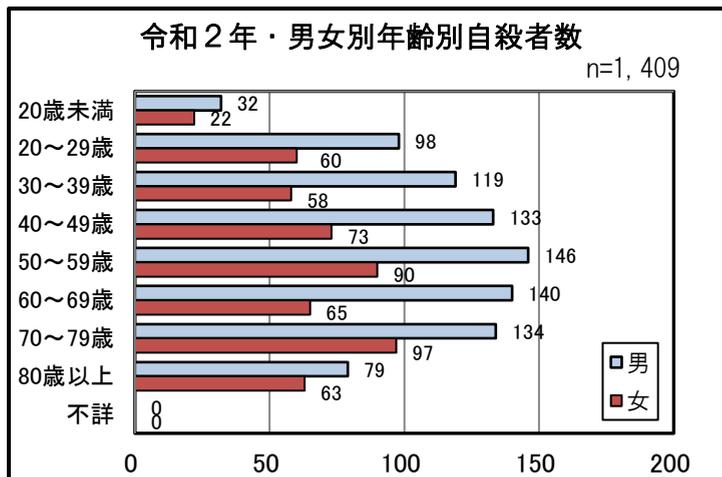
男女別自殺者数は、男性が881人（62.5%）、女性が528人（37.5%）となっており、依然として男性が女性の2倍に近い数となっています。



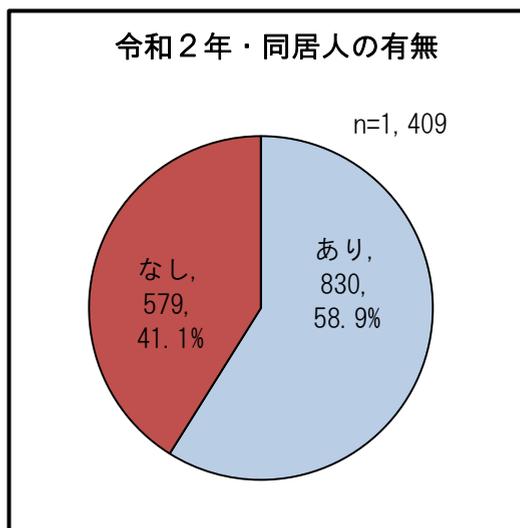
平成19年から原因・動機を3項目まで計上することとなっており、昨年同様「健康問題」「家庭問題」「経済・生活問題」の3項目が男女ともに上位を占めています。



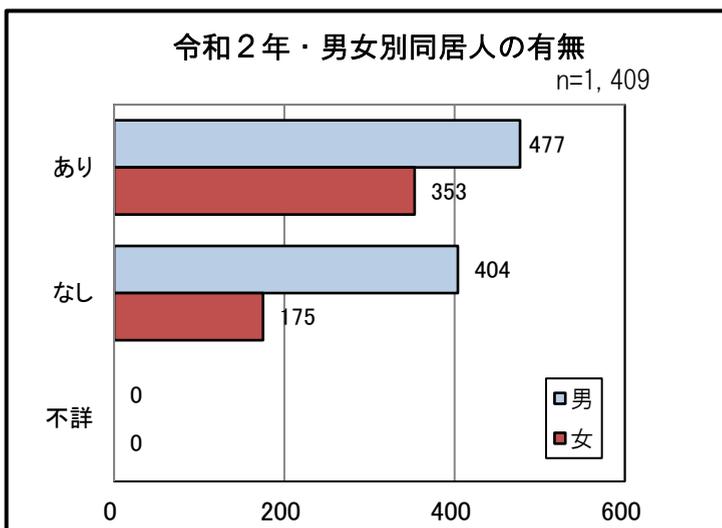
年齢別自殺者数は、「50～59歳」が236人（16.7%）と最も多く、次いで「70～79歳」が231人（16.4%）、「40～49歳」が206人（14.6%）と続いています。また、39歳以下の若年層の自殺者数は389人です。



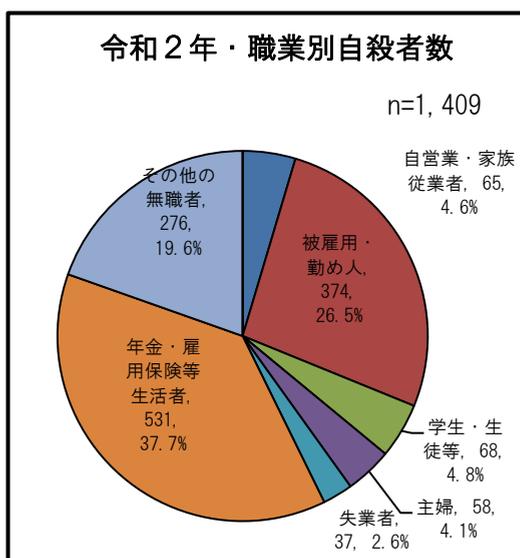
男女別に年齢別自殺者数を比較すると、男性は「50～59歳」146人（16.6%）が最も多く、次いで「60～69歳」140人（15.9%）が続いています。女性は「70～79歳」97人（18.4%）の自殺者数が最も多く、次いで「50～59歳」90人（17.0%）が続いています。



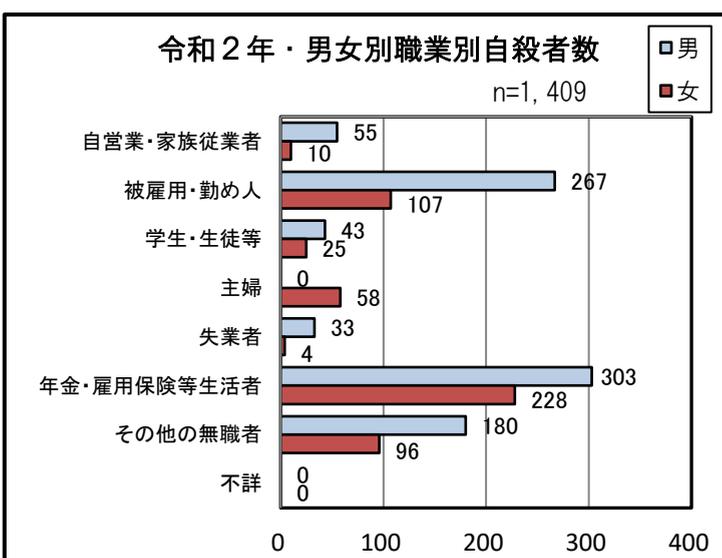
同居人の有無では、「同居人あり」が830人（58.9%）、「同居人なし」が579人（41.1%）となっており、「同居人あり」の方が約6割と多くなっています。



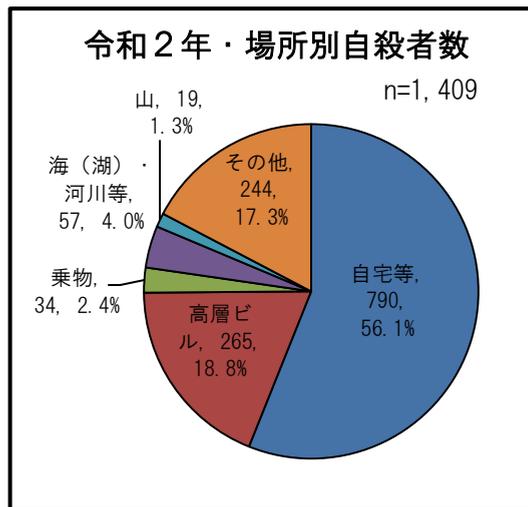
男女別の同居人の有無では、男性477人（54.1%）、女性353人（66.9%）が「同居人あり」で、男性404人（45.9%）、女性175人（33.1%）が「同居人なし」でした。割合で見ると、女性の方が「同居人あり」が多くなっています。



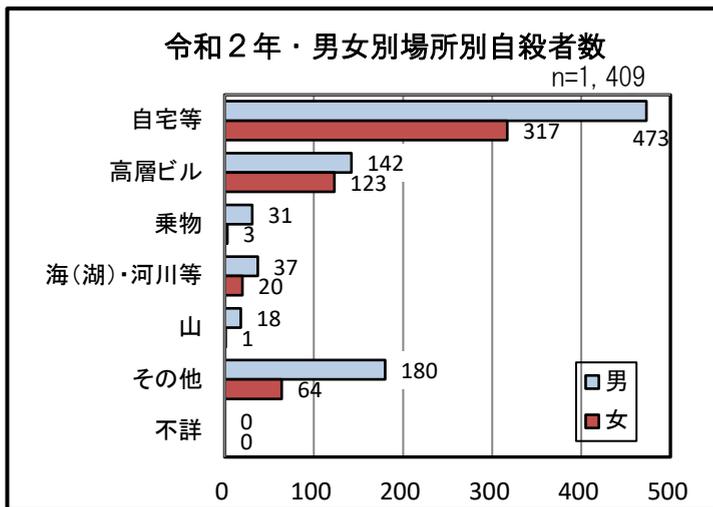
職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が531人（37.7%）と最も多く、昨年より76人増えています。次いで「被雇用・勤め人」が374人（26.5%）となっています。



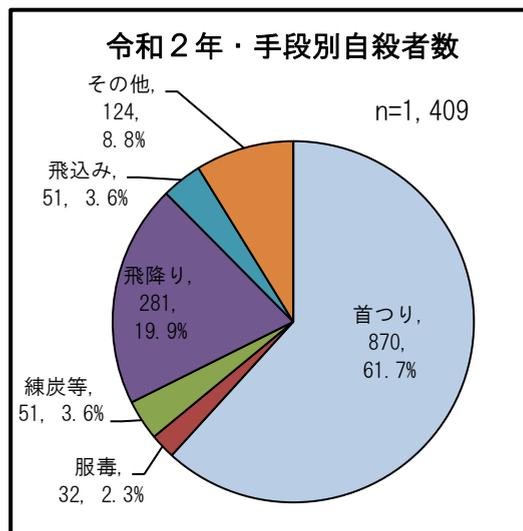
男女別に職業別自殺者数をみると、男性は「年金・雇用保険等生活者」303人（34.4%）、次いで「被雇用・勤め人」267人（30.3%）が多く、女性は「年金・雇用保険等生活者」228人（43.2%）、次いで「被雇用・勤め人」107人（20.3%）が多くなっています。



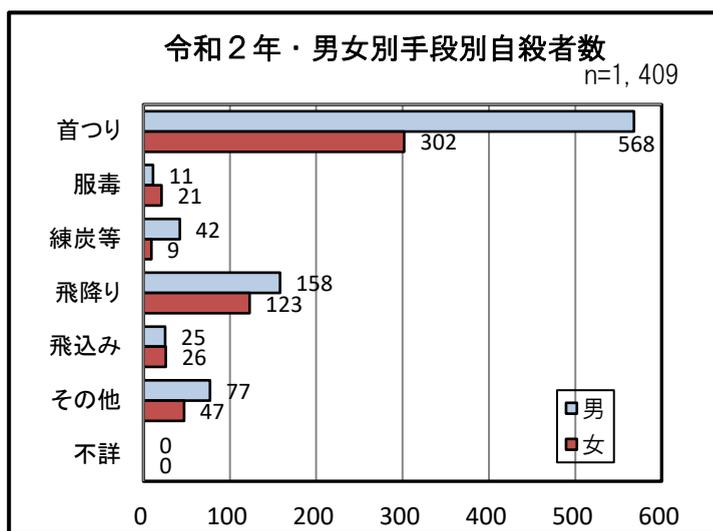
場所別自殺者数では、「自宅等」が790人(56.1%)と5割強を占めています。次いで「高層ビル」が265人(18.8%)と続いています。



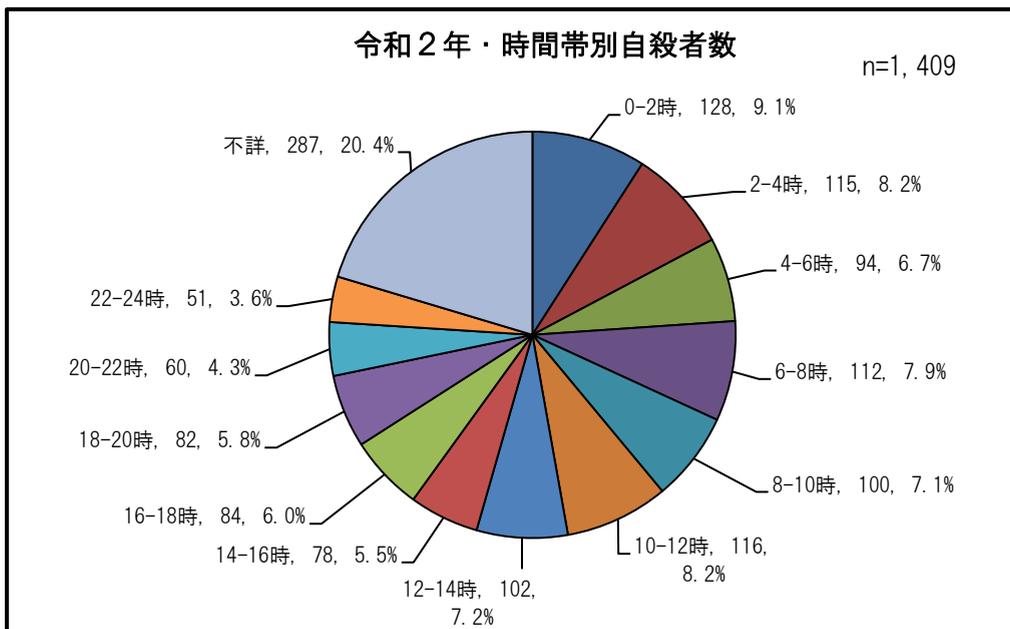
男女別に場所別自殺者数をみると、男女ともに「自宅等」が多くなっており、次いで「高層ビル」と続いています。



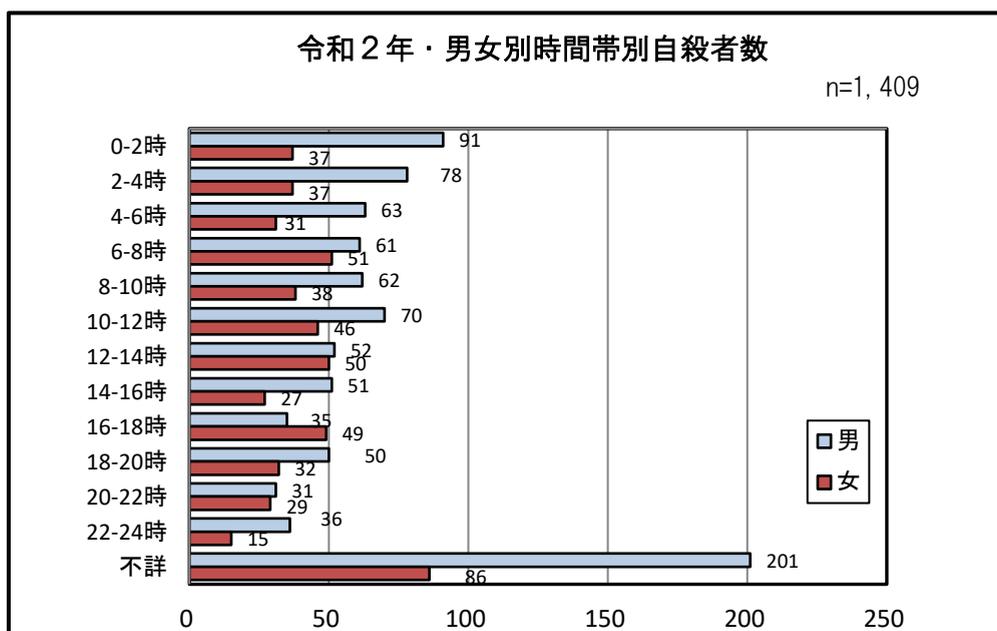
手段別自殺者数では「首つり」が890人(61.7%)と6割弱を占めています。次いで「飛降り」が281人(19.9%)となっています。



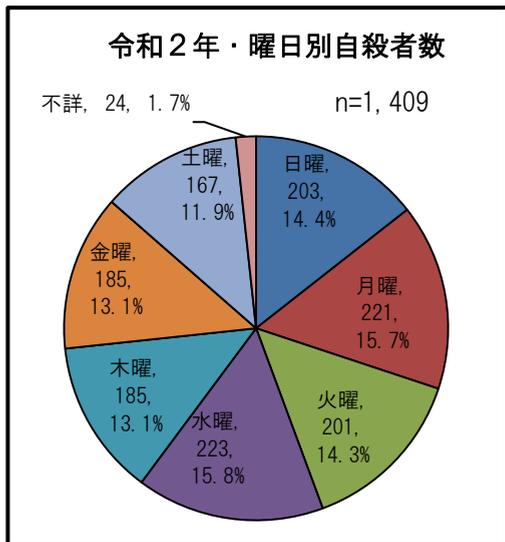
男女別に手段別自殺者数をみると、「首つり」が男女ともに多く、次いで「飛降り」が多くなっています。



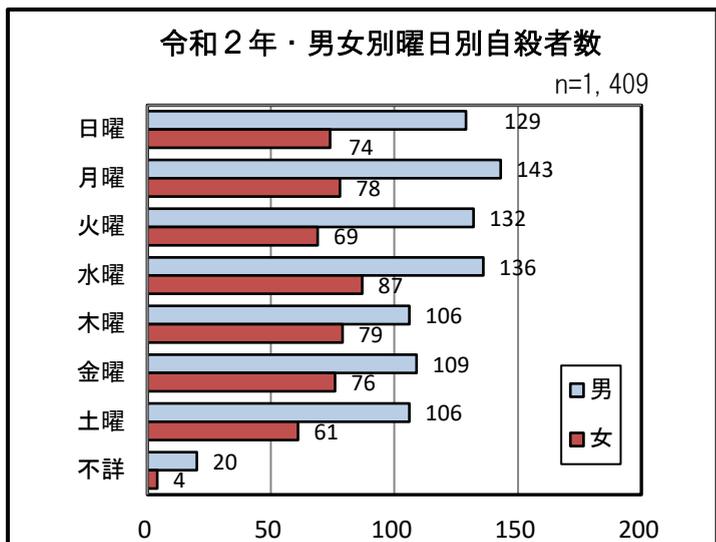
時間帯別自殺者数の割合では、「不詳」以外で最も多い時間帯は「0～2時」の128人（9.1%）で、少ない時間帯は「22時～24時」51人（3.6%）となっています。



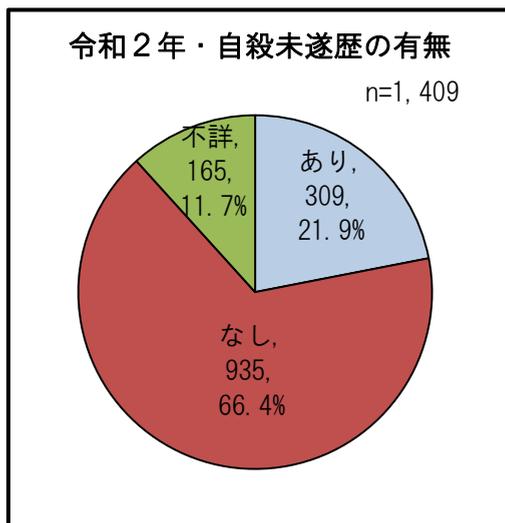
男女別の時間帯別自殺者数については、男性では「0～2時」女性では「6時～8時」が多くなっています。



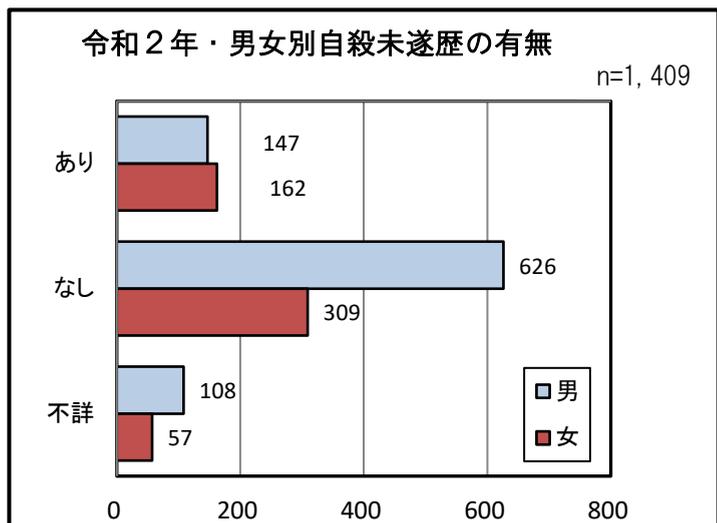
曜日別自殺者数の割合は、「水曜日」が多く、「土曜日」が少なくなっています。



男女別の曜日別自殺者数では、男性は「月曜日」「火曜日」「水曜日」が多く、女性は「水曜日」「木曜日」が多くなっています。



自殺未遂歴の有無では、「あり」は309人(21.9%)、「なし」は935人(66.4%)となっています。



男女別に自殺未遂歴の有無をみると、男性の自殺未遂歴「あり」の割合は147人(16.7%)、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は162人(30.7%)となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性よりも多くなっています。